野口米次郎(ヨネ=ノグチ) 詩人。アメリカで活躍、帰国後は、日本と英米文化相互紹介に尽力。イサム=ノグチの父。

のぐちよねじろう

初の民間工場1875 = 愛知県海部郡津島で、地主野口伝兵衛の長男に生まれる。

明治14年政変1881 = 6歳 :

岩倉具視没・1883 = 8歳 : 英語を学ぶ。

秩父事件・・・1884 = **9歳** :

初の対等条約1888 = 13歳 : 叔父の家に出されて、スマイルの「自助論」などに触れ、

帝国憲法発布1889 = 14歳 : 愛知県立第一尋常中学校に入学するが、

帝国議会始・1890 = 15歳 : 中退して、上京。神田の私立中学成立学会に入学、ヘスティング伝の講義を受けて、文学に目覚め、慶応義塾に入って、経済の歴史を学ぶが、志賀重昂の家に寄寓している時に、菅原伝が北米事情を語っているのを聞き、福沢諭吉の言葉も信じて、

郡司千島探検1893 = **18歳** : 中退して、渡米。現実は厳しく、サンフランシスコで行商、学僕し、

日清戦争始・1894 = 17歳 : 邦字新聞の編集したホテルの手伝いなどしながら、苦学するうち、

日清戦争終・1895 = 20歳 : 下僕を探していた詩人ウォーキン・ミラーを訪問、気に入られ、アメリカ詩人の作品に親しみ、

白馬会・・・1896 = 21歳 : ***アドバイスも受けて、英語の詩集「Seen and Unseen」をヨネ・ノグチの名で刊行して注目される。**

Bushidou・・・1899 = 24歳 : ミラーの家を出、ヨセミテを経て、シカゴに行き、(イブニング・ポスト)に寄稿、

ビア国産化・1900 = 25歳 : ニューヨークで下働きをするうち、

教科書疑獄・1902 = **27歳** : 決意して、イギリスに渡り、

日比谷公園・1903 = 28歳 : 詩集「From the Eastern Sea」を刊行、

日露戦争始・1904 = 29歳 : ***アメリカに戻り、日露戦争が起こって、新聞・雑誌に寄稿を依頼されるが、詩集「The American Diary of Japanese Girl」を最後に、11年ぶりに、帰国。その直後に、アメリカで知り合った女性との間の子、のちの彫刻家イサム=ノグチが誕生している。**

日露戦争終・1905 = 30歳 :

満鉄発足・・・1906 = 31歳 : **慶大英文科教授となり、結婚。{あやめ会}を設立、日・英・米詩人の詩を収めた二つのアンソロジー「あやめ草」「豊旗雲」を刊行。**

大逆事件判決1911 = **36歳** :

明治天皇没・1912 = 37歳 : オックスフォード大学で「日本の詩歌論」講演。

本格政党内閣1918 = 43歳 : アメリカ・インドから招聘されて講演。

ペリシ条約・1919 = 44歳 :

大暴落・・・1920 = **45歳** : 日本に定着し、

原敬首相暗殺1921 = 46歳 : 日本語で「二重国籍者の詩」、

水平社結成・1922 = 47歳 : 「林檎一つ落つ」「沈黙の血汐」、

関東大震災・1923 = 48歳 : 「山上に立つ」「最後の舞踏」「我が手を見よ」など、***外国語的表現を交えた独自の詩風の詩集を刊行、**

治安維持法・1925 = 50歳 : 日本芸術や英米文学に関する随筆評論を収めた「野口米次郎ブックレット」刊行開始、

金融恐慌・・・1927 = 52歳 : 全35巻を完結。

世界恐慌・・・1929 = **54歳** :

満州事変・・・1931 = 56歳 :

日中戦争始・1937 = 62歳 :

健保+総動員 1938 = **63歳** :

日米開戦・・・1941 = 66歳 :

敗戦・・・1945 = 70歳 : 其他多くの著書を残して、

新憲法施行・1947 = **72歳** : 没した。